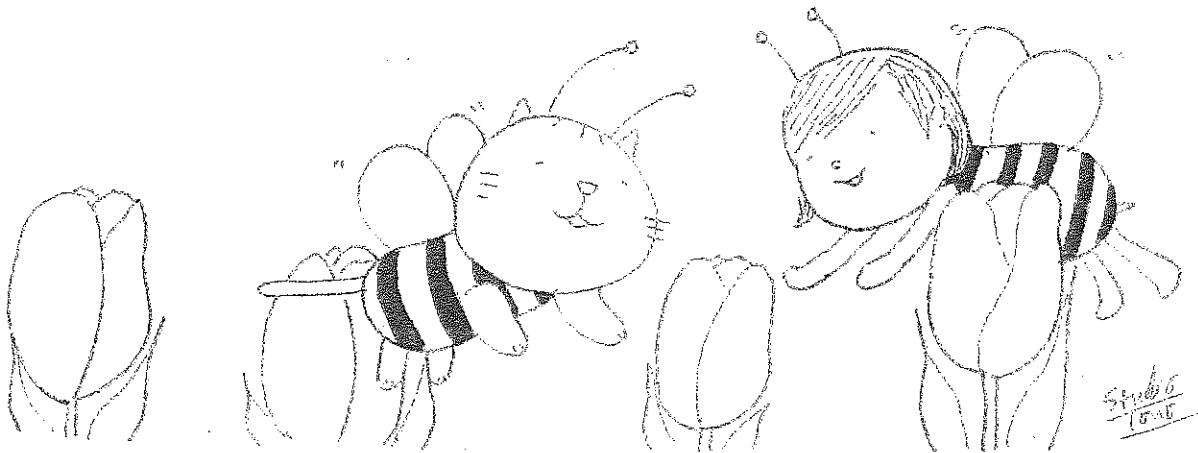
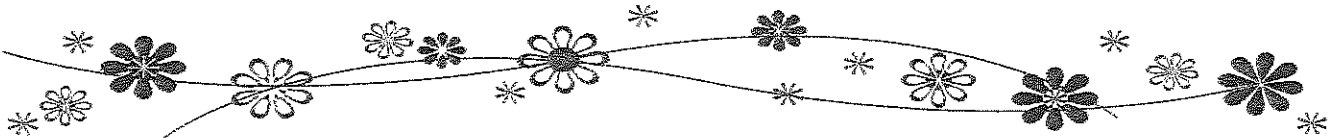




ボランティアグループがつくる和歌山県男女共同参画センターの書評誌

この本よんだ？

～りいふる BOOK プラス～

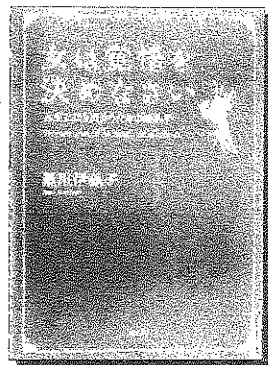


女は覚悟を決めなさい 人生に立ち向かうための脳科学

黒川伊保子 著 ポプラ社 2016年 (E:こころ・癒し)

本書は脳科学者が女性の為に書いた「女性脳」の本です。

まず男と女のそれぞれの脳の違いについて書かれています。そもそも脳に性差があるなど知らなかった私にはとても面白い話ばかりで、「目からウロコ」でした。男には目の前の物が見えないから髪型を変えても気が付かないし、悲しそうな顔をして素通りする



とあり、なるほどと納得させられました。

また女は「共感」の為に会話するが男は共感なんかしてくれない。男は「素早い問題解決」の為に会話するそうです。

本書には職場での男性上司に対しての処し方、男性部下の育て方や育児も男女別にアドバイスが書かれていたり、具体的な事例をあげてわかりやすく解説してくれています。

家庭で夫に不満を持っている人も、職場で悩んでいる人も、子育て真っ最中の人も読後はきっと心が軽くなり、輝き始めるに違いありません。

(花賀)

この世でいちばん大事な「カネ」の話

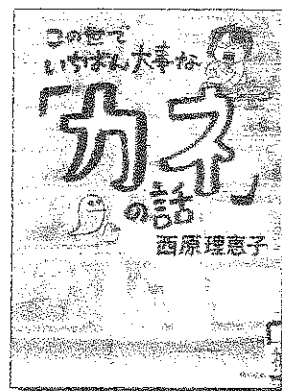
西原理恵子 著 角川書店 2011年 (K:エッセイ・文学)

まずこの本を手に取り、「きれいごとなしの本だな」と感じました。表紙のタイトルと各章のタイトルが著者の手書き文字なのですが、とても迫力があるのです。イラストと相まって、ちょっと怖い、そんな印象さえ持ちながら一気に読みました。

この本では、主にお金に焦点を当てた著者の半生と彼女が伝えたいことが読者に語りかけるように書かれています。著者が幼いころに味わった、お金の無い地獄は想像を絶するものであり、悲しく、自分が申し訳なく思えました。貧乏は負の連鎖を生むので、お金を稼ぐことで自由を手に入れなければならないという著者の強いメッセージを感じます。

その後も、イラストの仕事が軌道に乗るまでの話、著者がギャンブルなどで大金を無くした話という強烈な体験が語られます。それを踏まえて、『自分探しの迷路は「カネ」という視点を持てばぶっちぎれる』というように働くことの大切さを説かれます。

働くこと、お金に対する姿勢を考え直す機会となりました。気になられた方は、ぜひ手に取ってみてください。(A.T.)



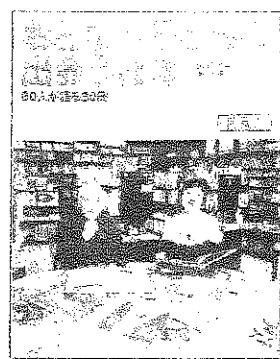
おとなが子どもに出会う絵本 80人が語る80冊

谷川俊太郎・中川素子 編 平凡社 2003年 (F:子育て)

本書は詩人の谷川俊太郎氏と絵本作家の中川素子氏が、子どもが主人公の絵本、子どもの心を映しだした絵本の中から80冊の絵本を選び抜いた。その80冊をいろいろな分野で活躍している80人が絵本を体験し、各々が子どもに戻り、または現在の自分と見合わせて文章を綴っていく。「仲間・家族」「自分のこと」「自然・からだ」「つくる・夢」「世界の子ども」とバランスよく分類され、きれい事だけではなく残酷な場面、心の闇が描かれている絵本も紹介されているので、広い視野で絵本を楽しむことができる。後ろ8ページには

「世界でたった一冊だけの写真絵本」「からだを使って絵本体験」の子ども達のワークショップを取り上げ、そこには屈託のない子ども達の笑顔が写し出されている。

本書に出会えたことで、絵本に対しての概念が変わるかもしれません。素晴らしい本です。ぜひ、読んでみてください。(K)



※“りいぶる”での分類記号一覧

A:フェミニズム B:労働・法律 C:家族・結婚 D:女性・子どもに対する暴力 E:こころ・癒し F:子育て G:からだ
H:セクシュアリティ I:女性史 J:自伝・評伝 K:エッセイ・文学 L:高齢社会・福祉 M:男性学 N:資料・雑誌 O:その他
P:AV 資料 Q:コミック R:NPO サポートセンター所蔵図書

正しいパンツのたたみ方 新しい家庭科勉強法

南野忠晴 著 岩波書店 2011年 (K:エッセイ・文学)



著者は高校の男性英語教員でした。しかし、生徒の生活態度をみているうちに、家庭科に興味をもち、通信教育で勉強して、家庭科教員に変わったという異例の選択をした人です。「主要教科」の英語からしてみれば、家庭科って「副教科」だし、何が面白いのかと思われるかもしれませんが、本書を読めば、自分の生き方に役立つ技

術や考え方を学ぶ大切な教科だったのだと思ひ知らされます。

内容は他者と生きるためにはどうしたらいいか、食事づくりの重要性、家族とは、働くとは、ゆたかに生きるとは、自立とはといったテーマで展開されている。高校生向きに書かれた本だが、男性や独身の人でも得るもののある本だと思う。正しいパンツのたたみ方って気になりませんか？簡単に読めるので、ぜひ読んでみてください。

(カ)

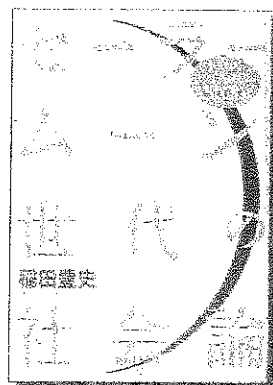
術や考え方を学ぶ大切な教科だったのだと思ひ知らされます。

セーラームーン世代の社会論

稲田豊史 著 すばる舎リンケージ 2015年 (A:フェミニズム)

「月に代わっておしおきよ！」のきめゼリフで有名なアニメ「美少女戦士セーラームーン」は1992年から1997年にかけてテレビ放映された。それを見て育った少女たちは今アラサー(30歳前後)となっている。

著者はセーラームーンの歴史的意義を「女子だけのチーム戦闘もの」という新しいジャンルを日本のアニメ界に定着させたことだと述べている。それまでは「ゴレンジャー」のように男女の混成チ



ームであったものが、女子のみとなった点が「革新的」というわけだ。著者はまた「テレビアニメは、事実上無料で摂取できるコンテンツであるがゆえに、ある世代全体の嗜好性を一意に決定しやすい」と言い、「現代日本の

アラサー女性を知るためには『美少女戦士セーラームーン』という、幼少期の彼女たちを熱狂させた作品を分析するのが一番なのである」と述べる。このような意図から本書はこのアニメ作品を詳細に分析することで、少女期にこの作品を観て熱狂した「セーラームーン世代」を読み解いていく。

全6章で構成され、第2章「セーラームーン世代は何と戦っているのか」では、セーラームーンの敵を分析することによって、セーラームーンにとっての正義とは何かを提示。第4章「月野うさぎ」という1990年代女兒のロールモデル」では主人公月野うさぎというキャラクターを分析。作品に関する分析には他の作品との比較やアイドル事情との関連など、著者の幅広いサブカルチャーに関する知識が総動員され面白い。

セーラームーンを観て育った世代とアニメが好きなおすすりめです。(O.S)

鶴見和子 対話まんだら 中村桂子の巻 四十億年の私の「生命」生命誌と内発的発展論

鶴見和子・中村桂子 著 藤原書店 2002年 (K:エッセイ・文学)



本書は二日間に亘った対談を書物にしたものである。長くて難解な表題だが、「対話」形式であることが幸いし、身構えずに読み進められた。

話は二人の学問の内容、進んできた道の

り、そして獲得した新しい理論へと深まっていく。鶴見和子は、若くして渡米し、ぱりぱりの西洋の近代化論を学び、後それを基盤としながらも価値観の違う独自の「内発的発展論」を生んだ社会学者である。

「内発的発展論」とは、すべての社会が英米型の近代社会になることを良しとするのではなく、それぞれの社会(地域)がそれぞれの自然生態系と文化にしたがって住民の創意工夫で発展していくべきという社会理論である。

その理論は、鶴見が水俣病調査に精力的に関わることで、人間を自然から切り離れた近代化論では水俣病問題は解決できないと考えるにいたり、またアニミズムを生物学などの学問に結びつけた南方熊楠に出会い、「何ものも排除せず」の思想をあらわす「南

方曼荼羅」に共鳴したことなどから生み出されたという。

対する生物学者中村桂子は、生命科学を学ぶなかで、約30年がかりで「生命誌」という新しい理論を考え出した。

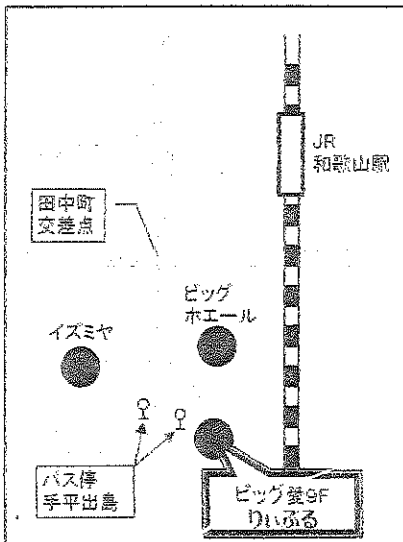
「生命誌」とは、DNA研究の成果を踏まえ、約四十億年という平等な歴史を背負うものとして、人間を含むすべての生物の多様性と相互の関係を捉え直そうとする理論である。

この「生命誌」は生物学における内発的発展論で、人間社会における内発的発展論を深め広げていくために活用してほしいという気持ちで対談に臨んだという。

中村の言葉、「今ここにある私の命は、四十億年の歴史の結果としてある。途中で途絶えた生物もいたが、生物がずっと生きてきたのは、生物の多様性のおかげだ。単細胞も多細胞も優劣はない。ヒトは生物のトップではない。ミジンコにもアリにも歴史があり物語があるのだ」が心に残った。

本書の発刊は2002年。以来日本も国外も大きく変貌した。未来を見つめた二人の思想はますます価値を増しているように思う。優れた古典として読み継がれることを願わずにはられない。

(大空)



この本 よんだ? 第14号 (2017年4月発行)

◇企画・発行 りいぶるぶらす

◇協力 和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」

【編集後記】

りいぶる主催の読書会に参加してみました。ボランティアグループ「りいぶるぶらす」の編集会議とは違ったメンバーで、また違った感じの本が選ばれていて新鮮でした。一時保育つきというのがいいですね。よければ私達の活動にもご参加ください。

残念ながら、今年度から発行回数が減り、次は10月発行予定です。

E-mail libreplus@yahoo.co.jp

ボランティアスタッフ募集。メールでお問い合わせください。